

手稲区民の声を市政に届けて なによりも、くらし・福祉が第一です



日本共産党市議会議員(二期)

井上ひさ子

市営住宅の家賃値上げで質問

井上ひさ子議員は十一月二十一日、国土交通省に「公営住宅法施行令の改正」による全国的な家賃の値上げをしないよう求め、紙智子参院議員とともに交

渉。また、第二回定例会でも政令改正による値上げをやめるように国に求めるべき」と質問し奮闘しています。

第二回定例会

妊婦検診の負担軽減について

全国で九割の自治体が、無料で二回以上実施していると指摘、母体の健康を守り元気な赤ちゃんを産むために、他都市並みに



無料妊婦検診を早期に二回以上実施することを求めました。

国の悪政も市の負担増も許しません 家庭ごみ有料化十月実施を断念させる

市の財政構造改革プラン(〇四年作成)では、今年の十月から、家庭ごみを有料化する計画でした。

日本共産党は、毎回の議会でごみ減量に向けた取り組みを提案し、有料化反対の論陣を張ってきました。市民のみなさんと「ごみ問題学習会」などを毎年開催し、

みなさんの運動と議会での日本共産党の論戦が実り、ついに、今年十月からの有料化計画は実施されませんでした。

来年の選挙後も、有料化はさせないよう引き続き頑張る決意です。



市民と一緒に要求を実現しました

あいくるから区民センターに入る2階に、案内版が設置されました。

曙6条3丁目下手稲通にカーブミラーと、止まれの標識が設置されました。

町内会や市民の皆さんの強い要望があり、実現しました。

国保・介護、除排雪への支援など

市民要望で政府交渉

紙智子参院議員とともに、9月6日、各省庁に国保・介護、保育所整備、除排雪支援、灯油高騰対策、30人学級拡大などを要望しました。

議会改革

日本共産党は、議会改革検討委員会で、政務調査費は「一円からすべて公開しガラス張りにするべき」と主張。今後、各会派で検討する予定となっています。議員報酬は10%削減を提案しています。

海外視察

日本共産党は、公費による議員個人の海外視察は中止し、重要課題での海外視察は、十分な事前調査と事後報告、超党派の視察団の派遣が必要と主張。日本共産党は、一九九二年以降、海外視察は取りやめています。



値上げするなどと交渉する紙智子参院議員と市議団